

アレルギー研修について

保健部

○アレルギー研修にご参加いただきありがとうございました。先生方からいただいた感想やご意見、ご質問をまとめさせていただきました。

ご質問については、**網掛け**で回答させていただいています。ご確認ください。

<内容について>

- ・アレルギーの重大さが良くわかった。
- ・毎年行ってほしい。
- ・アレルギーの危険性を改めて感じ、気を付けなければいけないと実感しました。
- ・毎年行ってほしい研修内容でした。(意識づけのためにも)
- ・今までアレルギーについて知る機会がなかったので、研修をしてもらえて良かったです。
- ・学校におけるアレルギーの事故事例を含めて紹介、対応の方法を説明してもらえてよかった。
- ・チームで動く大切さを再確認できてよかった。
- ・資料が今後の参考になるため、共有フォルダに入れてほしい。

⇒**school<校務分掌<保健部<給食<食物アレルギー関係<アレルギー研修<配布資料**
の中に入れさせていただきます。

<質問など>

- ・エピペンは誰が行ってもいいのですか？緊急性が高いので、誰でも行えると思うのですが、、、。

⇒**基本的には誰でも打つことができます。ただし、アレルギー対応ガイドラインには、役割分担としてエピペンの使用は校長がすると書かれています。ですが、校長がいない場合もあるので、養護教諭、もしくは学級担任がエピペンを使用するように記載されています。**

- ・急に食べられなくなった、、、という場合はこわいですね。毎年、検査をしていれば防ぐことができるでしょうか？

⇒**防げることもあるかもしれませんが、完全に防ぐことは正直できないと思います。**

血液検査の結果が陽性でも食べられる場合もあるし、陰性でもアレルギー反応が出てしまうこともあります。

- ・アナフィラキシーの症状と他の病気の症状が似ている部分があるので、動かしていいのかダメなのか、判断を迷う気がしました。

⇒**発作もアナフィラキシーも、落ち着くまではその場で対応していただけたらと思います。発作時の対応と同様に、その場に養護教諭を呼んで対応をお願いします。(発作時も教室でダイアップを入れるのと同様に、アナフィラキシー時も、教室でエピペンを投与することが考えられます)**

・図工室などにある“でんぷん糊”について、原料は米から小麦へ変わり、さらに小麦が減り、とうもろこし、タピオカ、じゃがいもへと変化してきていると聞きますが、アレルギーの観点からは、配慮事項はありますか？以前からなんとなく避けていました。

⇒でんぷん糊は、書いていただいた通り、近年はとうもろこしやタピオカを使用したものが多いようです。食物アレルギーで見ると、とうもろこしのアレルギーなどがあつた場合は、気をつけたほうが良いかと思ひます。念のため、学校で使われているでんぷん糊に小麦が使われていないかは確認してもいいかと思ひます。
ただ、アレルギーは食物だけではなく、天然ゴムやアルコールなどでもかぶれてしまう児童生徒もいますので、そこはしっかり把握しておく必要があります。

・ダイアツプを預けている児童生徒でも、エツピペンの預かりを学校でもらえるのか？

⇒発作に関する薬を2種類預かるということはできないが（どちらを使用しているのかややこしくなるので）、エツピペンとは別のカテゴリーの薬なので、預かりは可能です。（保健室の回答）

・エツピペンの内容量は、個人によって差があるが、もしも複数人のエツピペンを預かることになった場合に、間違えてしまわないか？

⇒個人名がしっかりわかるように預かることになるので、心配はないかと思ひます。
ただ、保管場所については、今後検討していく必要があると考えています。

・さくらんぼアレルギーの新規発症の事例について、これが事故となるなら、どのように防げばいいのか？（家庭でも喫食して、症状は出なかった）

⇒防ぐことはできないと思ひます。いつ発症してもおかしくないということを知っておいていただきたく、1つの例として紹介させていただきました。今後、新規発症があつた際に、落ち着いて対応していただけたらと思ひます。

（保健体育課に、新規発症でもそういった様式で報告しないといけないので、「事故」と表記しましたが、適切ではなかったです。）

<今後のアレルギー研修で取り入れてほしい内容など>

- ・エツピペンの打ち方を全員体験してみる
- ・エツピペンを子ども役に打つ実践
- ・エツピペンの保管方法について